

一般質問

ここが知りたい！
訴えたい！

- 松枝 治幸 13 3年前の水害からの教訓が生かされたか
- 中島 宗昭 17 土地盤整備とセツトでの推進は
- 牟田口美智子 14 ラジオ体操始めてみませんか
- 益田 隆一 18 若年層に向けた情報発信対策は？
- 古賀 知文 15 国道442号(バイパス)蛭池交差点付近渋滞の緩和を
- 徳永 伸行 19 どうする？
- 小畠 裕司 16 町の空家対策は？
- 大木町の農業と環境

松枝 治幸 議員



3年前の水害からの教訓が生かされたか

問

答

地域防災計画を改定し、地域の防災力を強化中

町長 地方創生に向けた取り組みを前進させるために、企画課に地方創生担当を新設するとともに、新公会計制度の導入や公共施設等管理計画の策定にも着手する体制を整えた。

職員に対しては、自治体職員としての使命感、経営感覚や柔軟な思考力、社会経済情勢の変化に対応できる能力を身につけ、町民の目線に立つて政策提言のできる職員となることが重要であり、人事異動を意識改革・行動改革・自己開発の最大のチャンスであると捉え、常に自己開発に努めてもらいたいと訓示した。

問 今回の職員配置の意図は。

町長

問 九州北部豪雨災害からの教訓が生かされているか。

建設水道課長

平成24年7月の九州北部豪雨災害の際は、山ノ井川、花宗川において越水し、大きな被害が発生した。同年9月に、町と町議会が一体となり福岡県への要望活動を実施し、また毎年、国・県に対して両河川の治水対策の要望活動を実施している。



山の井川の排水機場の改修は、平成26年度から2カ年で、排水機場の3台のポンプ本体の分解整備、エンジンの更新及び吐出樋管の更新など、確実な排水機能維持のための維持更新工事を実施中。

排水ポンプの操作は、毎月1回以上の機器点検と実際に運転を行う管理運転点検訓練を実施、年3回専門業者による機器点検を実施、さらに、さまざまな不具合などに迅速に対応できる体制が必要となるため、防災協定の締結等を行っている。

山ノ井川の改修については、平成25年度に降雨・流出解析、高水流量の算定、将来計画を見据えた河道計画の検討が実施されたが、さらに精度の高いシミュレーションを行う必要があるため、平成26年度から、実態に近い流域形態での浸水対策の検討を実施中。



山ノ井川排水機場と樋管の更新工事の状況

花宗川改修事業は、完成目標を平成41年度とされ、平成26年度末の進捗率は、事業費ベースで南筑後県土整備事務所管内86.7%、八女県土整備事務所管内7.0%となっている。